

整備前の新市街地地区 (平成10年頃)

## 流山都市計画事業新市街地地区一体型特定土地区画整理 事業(千葉県流山市)

流山新市街地地区は、秋葉原からつくばエクスプレスで25分の「流山おおたかの森」駅を中心とする土地区画整理事業地区(約275ha、平成12年3月認可)です。「流山おおたかの森」駅は東武アーバンパークラインの新駅と合わせ、平成17年8月に開業した流山市内初の首都圏直結の駅です。駅を中心に新たな都市拠点の形成が進み、飛躍的に人口が増加しています。

流山市は、キャッチコピー「母になるなら、流山市。」のもと、子育て支援に力を入れており、子育て世代の流入が特に顕著です。駅東口には送迎保育ステーションが設置され、近年では、平成27年4月に、特徴的なデザインと機能性を有する「おおたかの森小・中学校」(小中併設、U

R施行)が開校し、ママさんたちに 評判となっています。

駅南口には駅直結の商業施設「流山おおたかの森S・C」が立地。さらに駅北口では、平成31年春開設に向けて市の公益施設整備が進むなど、今後さらなる発展が期待されています。



流山おおたかの森駅(南口駅前広場)



現在の新市街地地区(平成27年12月)







おおたかの森小・中学校